

小寺財団精神分析研究セミナー

英国精神分析臨床の発展を考える

——英国精神分析協会精神分析家 阿比野宏先生をお迎えして——

趣旨

これまで本企画タヴィストック・セミナーでは、主に乳幼児から思春期・青年期までの主題を取り上げてきました。今回は、イギリスの精神分析協会で、日本人で初めて訓練を修了し資格を取得された阿比野宏先生をお迎えして、精神分析の真髄とはどのような経験の集積なのか、お聞かせいただきます。以下は、講師からの言葉です。

「“精神分析を学ぶ”とはいったいどういうことなのでしょう？学ぶための手段となるものには様々なものが考えられます。文献、精神分析の論文から、理論セミナー、スーパーヴィジョン、臨床セミナーでの議論から、そして一番大切なものとして、自分自身の分析的治療を通してなどが考えられるでしょう。いずれの形においても、最も重要と思われるのは、“経験から学ぶ (Learning From Experience)” ことだと考えられます。精神分析における経験とは、情緒的経験を指しています。文献、論文を読む際も、そこで湧き上がってくる情緒的体験を、どのように消化していくかが重要になると思われます。知的な理解のみでは、精神分析理論を把握していることにはならないでしょう。そこに、自分自身の治療者としての、そして患者としての、臨床体験、情緒的体験が実感として、自身にもたらされたときに初めて、身となるのです。そうした体験の積み重ねが、臨床家としての精神分析家を作り上げていくと思われます。

今回のセミナーでは、私自身の英国での長期に渡る臨床経験を通して、英国精神分析臨床における、共通の臨床的理解の発展について、私なりの考えをまとめてみたいと思います。加えて、私にとっての英国精神分析の臨床とは何かについて、お話ししていきたいと思います」 (阿比野宏)

日 程： 2018年12月23日(祝・日) 午後1時～5時

講 師： 阿比野 宏

(英国精神分析協会精神分析家、タヴィストック・クリニック管理・教育スタッフ)

司 会： 福本修(代官山心理・分析オフィス、長谷川病院、きしろメンタルクリニック)

木部則雄(白百合女子大学、子ども思春期メンタルクリニック)

討 論： 小倉清(クリニックおぐら)・木部則雄・福本修(敬称略)

と ころ： TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

151-0051 新宿区市ヶ谷八幡町8番地(市ヶ谷駅徒歩1分)

参 加 費： 7,000円

定 員： 70名

参 加 者： 精神分析に関心があり、臨床実践を行っている方

(臨床経験の多寡は問ません)

申込方法： 小寺財団事務局まで、ファックスか電子メールでお申し込み下さい。

〒160-0004 新宿区四谷3丁目4番 SCビル6階

小寺記念精神分析研究財団事務局 FAX: 03-3350-9749

電子メールアドレス: kodera.kt@nifty.com

申込期限： 2018年12月18日(火)

主催 小寺記念精神分析研究財団

小寺財団精神分析研究セミナー
英国精神分析臨床の発展を考える
2018年12月23日(祝・日)

本参加申込書は、下記住所までE-mail、郵送またはFAXにてお送りください。
 (電子メールでのお申込みは、下記の項目を本文にすべて記載し、件名を「12月23日開催セミナー申込み」として下さい。)

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-4 SCビル6階
 小寺記念精神分析研究財団事務局
 E-mail : kodera.kt@nifty.com Fax : 03-3350-9749

申込期間 **12月18日(火)まで期間厳守** 申込 月 日

フリガナ 氏名		男・女(19年生)	
勤務先			
所属		職種	経験年

(どちらかを○で囲んでください) 自宅・勤務先

連絡先 住所	〒		
自宅	電話	FAX	
勤務先	電話	FAX	
e-mailアドレス			

参加費：7,000円

* 先着順に受け付けます。参加の可否については、受付後順次連絡先住所にはがき、または、申込書に記載のメールアドレスに連絡いたします。
 同時に振込先のご案内もいたします。定員になりしだい締め切ります。

本セミナーをどのようにして知りましたか？該当する箇所に○を付けて下さい。
 郵便・ホームページ・メール・知人の紹介・その他 ()

※記載の個人情報は、セミナーのご連絡、ご案内の他には使用いたしません。